

思春期ふれあい体験授業

【目的】

乳幼児とのふれあいを通じ、豊かな父性・母性の育成、命の尊さ・大切さを考える機会を与え、世代間交流を図ることにより、次世代の健全な親の育成を促し、温かい家庭づくりへと発展させる。

【対象】

市内中学校3年生

【グループ毎に自己紹介と質問タイム】

*水色エプロンの保健推進員もグループに分かれて。



【ふれあい体験】





中学生と乳幼児のふれあい体験



ご協力いただいた皆様のおかげで、中学生の良い学びになりました。
またのご協力をよろしくお願いいたします。 館山市健康課

【赤ちゃんかわいい♡】

かわいかった！
命を感じた。 (男子)

赤ちゃんのフーフーの音が見ているとすごく面白かった。耳を近づけて聞くと自然と笑顔になる不思議な力も感じた。 (女子)

だんごの大きさにすごく強くて、命、イライラを感じました。
小さい子が抱いて笑っている、赤ちゃんが泣いている様子に慣れました。 (女子)

やはり小さい子はとても優しく、小さい子達のご行動を見ていた感じが良かったです。
まるで天使のようにとてもかわいく、私に話しかけていた時の顔が大好きでした。笑顔になりました。 (女子)

【将来】

これから先、赤ちゃんを大人まで育てるとなると大変な仕事かと思いました。 (男子)

これから先、赤ちゃんを大人まで育てるとなると大変な仕事かと思いました。また責任があると思いました。もし育てる機会があれば1つの命を大切にしたいです。 (男子)

自分に赤ちゃんを育ててみたいと思った。 (男子)

私は、乳幼児を育てることは大変なことだと思いましたが、お母さん達お話を聞いて大変さより喜びのほうが多いことを知り、子どもを育ててみたいと思いました。 (男子)

今日の体験が将来少しも生かせるといいと思います。 (男子)

